

第29回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第29回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(2)となった。
- ・今後4月から6月にかけての見通しは(15)で、プラスの期待感が広がりつつある。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成29年3月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H28. 12)	見通し (H29. 1-3)	B 現況 (H29. 3)	(B-A)	見通し (H29. 4-6)	現況 (H28. 3)
					前回現況 との対比		
総合	95	14	11	2	-12	15	-12
農業	9	0	-10	-33	-33	0	-20
建設業	11	27	27	0	-27	9	-33
製造業	11	27	0	-9	-36	46	-27
卸売・小売業	24	-13	9	0	13	8	-29
観光業	10	70	20	30	-40	30	0
飲食業	9	0	10	-11	-11	0	-11
サービス業	21	18	13	19	1	19	18

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話等による聴き取り
- 調査内容
 - (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」(Defusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。